# 高度な計算機能について

V1.08

# ※補足

こちらの機能はプログラミング機能になります。何かしらの言語でプログラミングの経験をお持ちの方がご利用の対象となります。

# 高度な計算機能とは

# 高度な計算機能とは

高度な計算機能を使うとテキストフィールドにデータを出力する時に、様々な処理を実行出来ます。

例1) 特定の数値以上の時のみ表示する

例2) 特殊な単位変換計算をする

例3)日付に曜日を付与する

例4) 他のフィールドのデータの内容から判断して 表示内容を変更する

データ出力の種類は問いません。テキスト、数値、 日時等、全ての項目で「高度な計算機能」をご 利用頂く事が可能です。

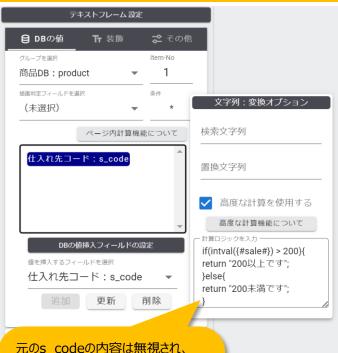
計算ロジックを記載いただく事で、高度なデータ処理やコントロールが可能になります。

※高度な計算にはプログラミング言語PHPを使います。本システムにはPHP8.1の機能限定版エンジンが搭載されています。





¥19,800 -



saleフィールドの内容が200以上であれば備考に「200以上です」と表示される。

200未満であれば、「200未満です」 と表示される。

(TEL)000-1111-2222 (FAX)222-3333-4444

数量	単価	金額	備考	
1	100	100	200未満です	<b>結果</b> 
0	200	400	43 + 4000	

# 高度な計算機能とは

高度な計算機能のDB連携フィールドコード入力にはルールがあります。{#と#}マークで「フィールドコード」と挟むように記載します。下記の例の場合は 現在のアクティブレコードのnameフィールドコードの値を取得する

となります。



こちらが高度な計算ロジックを入力出

来るエリアです。

処理対象となるDBグループのフィールド コードを記載

高度な計算機能の中では

- 該当の値フィールド
- 各レコードフィールド

がご利用いただけます。

メインデータの値フィールドを表現したい時

#### {#value#}

↑この例ですと右記の場合、「仕入れ先コード:s code」の値が入ります。

{#value#}は常に現在のメインデータがセットされます。

他のレコードフィールドを表現したい時

#### {#sale#}

↑この例ですと、同じDBレコードの「売価:sale |の値が利用出来ます。

個別のフィールドコードを記入すると、該当のフィールドコードの値を常に取得します。



最終的に return で戻される値がPDFの帳票に反映されます。

# 高度な計算機能でドキュメント全体の値にアクセスする

高度な計算機能を使うとページ全体の値にアクセス可能になります。取得出来る値はPDFに配置される直前のDB側のデータとなります。 下記、ページ全体のデータ保持しているオブジェクト変数とフィールド変数を記載します。

\$GLOBAL\_DOCUMENT\_OBJECT[ページ番号]["グループ名"][アイテム番号]["フィールドコード"];

また現在設定している高度な計算機能が格納されているオブジェクトの動的な各種変数は下記より取得可能です。

現在のアクティブなページ番号: {#current\_page#}

現在のアクティブなグループ名: {#current\_db\_group#}

現在のアクティブ名アイテム番号: {#current\_item\_no#}

つまり現在アクティブになっているアイテムの値を取得する場合には下記の記述が可能です。



#### (例1) 現在のアクティブなページのアクティブグループのアクティブなアイテム番号の「name フィールドの値を取得する

\$value = \$GLOBAL\_DOCUMENT\_OBJECT[{#current\_page#}]["{#current\_db\_group#}"][{#current\_item\_no#}]["name"];

#### (例2) 現在メインデータの「user data」フィールドの値を取得する

\$value = \$GLOBAL\_DOCUMENT\_OBJECT[{#current\_page#}]["kintone : main"][1]["user\_data"];

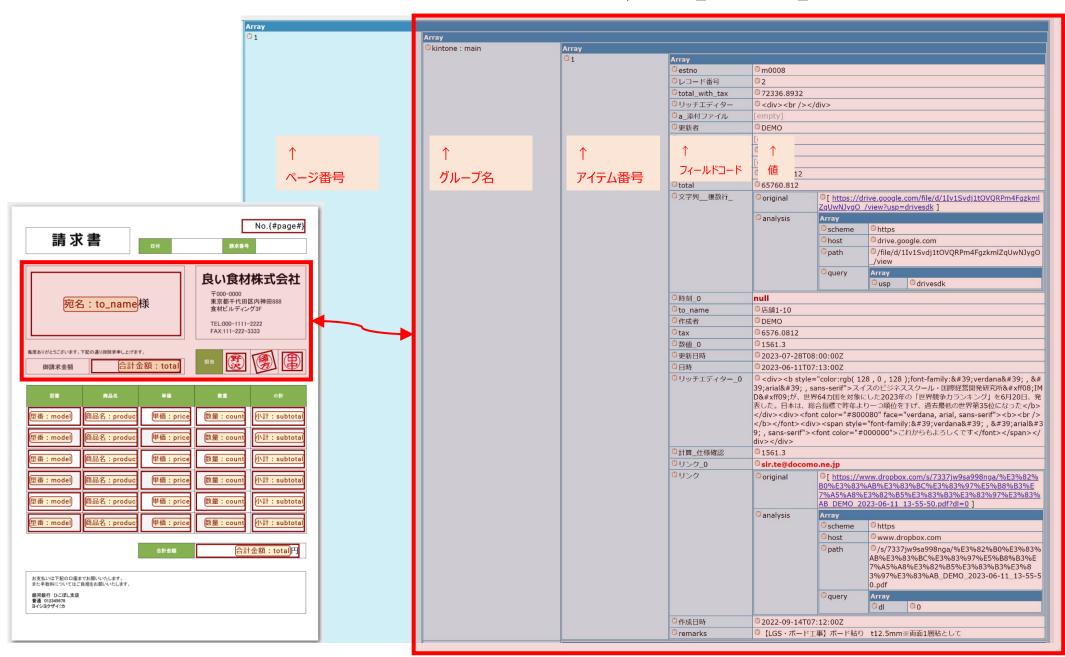


# ※注意

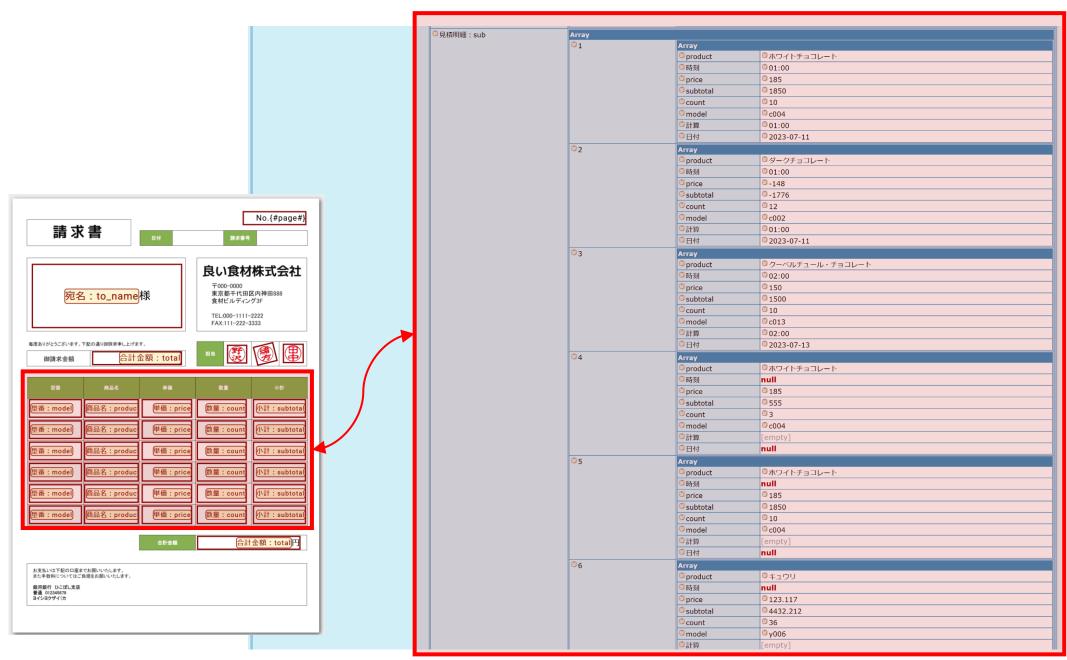
\$GLOBAL DOCUMENT OBJECT内のページ番号、アイテム番号の開始は1スタートになっております。0スタートのデータではありませんのでご注意ください。

\$GLOBAL DOCUMENT OBJECTは参照専用の変数です。このオブジェクト内の値を変更してもPDFの出力には影響を与えません。

#### \$GLOBAL\_DOCUMENT\_OBJECT内のオブジェクトデータイメージ



### \$GLOBAL\_DOCUMENT\_OBJECT内のデータイメージ

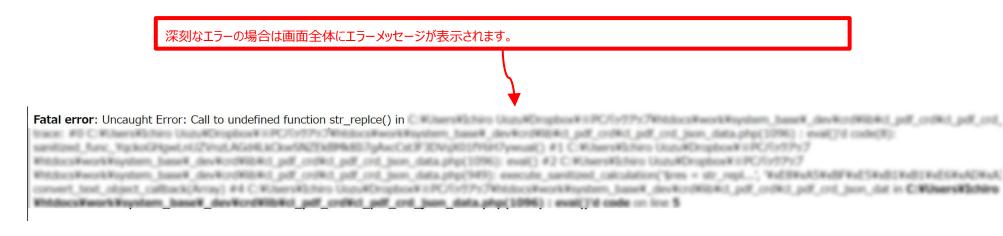


# 画面上にエラーが発生したら…

高度な計算機能ので適切ではないロジックが記入され、PDF生成を実行すると下記の様なエラーが発生する事があります。本システムではあえてエラーを画面に表示する事で問題のある箇所が分かるようになっています。

エラーが画面上に表示されましたら、記入したロジックの見直しを行ってください。

またエラーが表示出来ない状況のエラー等が発生すると画面が真っ白になる事もあります。再度のロジックの見直しをお願いいたします。





# 搭載されている開発言語

高度な計算機能では処理ロジックにプログラミング言語であるPHP8.1の機能限定版エンジンを搭載しています。一般的なプログラミングでもよく使用されている言語ですので、変数やif文等、データ処理に必要な機能を備えています。PHPについての詳細は下記のアドレスよりご確認ください。

https://www.php.net/



#### ※補足

本システムに搭載されているPHPでは下記の制限がございます。

- ・ロジック全体の文字数は20,000文字以内
- ・システム、ファイル、ネットワーク、データベース等の文字列処理以外の機能は動作しません。